

令和6年度埼玉県高等学校 PTA 連合会

定期総会・研究協議会

開催日：令和6年6月10日(月)

場所：埼玉会館 小ホール

参加者：佐藤校長、田口（受付業務協力：猪俣、廣田）

<定期総会>

- ・ 令和5年度事業報告
- ・ 令和5年度決算・収支報告
- ・ 令和6年度埼玉県高等学校 PTA 連合会役員(案)
- ・ 令和6年度埼玉県高等学校 PTA 事業計画(案)
- ・ 令和6年度予算
- ・ 旅費規程の改正
- ・ 第71回関東地区高等学校 PTA 連合会大会埼玉大会関係
総会次第にしたがって、順次報告、承認されました。



令和6年度予算では、税法上等の観点から賠償関係の予算化、賠償関係の一般会計との一本化、科目費の整理を見直したため、詳細な説明がありました。

埼玉大会関係では、よりコンパクトで魅力的な大会となるよう検討を進める旨の説明がありました。そして、下記3点を理由に、1日目を分科会、2日目を全体会(これまでの関東大会と逆)として実施するとの説明がありました。

- ・ 初日の受付業務を各分科会で対応することによる負荷軽減
- ・ 分科会会場を1日目で解放することによる費用削減
- ・ 分科会開催と並行し全体会リハーサルを実施することによる拘束日数の削減

一女は、埼玉大会にて、南部支部理事校として全体会の受付・来賓を担当することになります。



<研究協議会>

今年度は定期総会の議題が多かったことを理由に、紙上発表のみとなりました。

1. 「コロナ禍からの復興と PTA 活動」 埼玉県立新座柳瀬高等学校(生徒指導)

保護者・生徒対象のコロナ禍意識調査において、生徒より保護者の方がコロナ禍によるコミュニケーションの影響を心配していることがわかった。自由記入欄から読み取ると、生徒は自分なりに工夫して楽しみを見出そうとしているようだ。また、長期間のマスク着用により顔を見られることが恥ずかしいと感じる生徒が多くなっており、今後の課題であると述べている。

2. 「家庭教育と PTA」 埼玉県立秩父高等学校(家庭教育)

生活に関するアンケート調査(生徒、保護者対象)において、日頃から親子の会話が多い結果となった。ただし、相談したい場合に親に相談する割合は4割、友人に相談する割合は過半数であったのに対し、自分の子どもは親に相談していると思っている保護者は6割近くいることがわかった。親が

子どもを理解することに努めることが重要と考察している。

3. 「子供たちのより良い成長を目指して」 埼玉県立鳩ヶ谷高等学校(高校教育とPTA)

高校活動とPTAとの関わりに関する各イベントを紹介。昨年の文化祭では、4年ぶりにPTA主催の花火大会を開催した。高校教育の評価アンケートでは、生徒、保護者とも満足感が高いという結果となった。

4. 「進路指導委員会 越谷西高校 PTA 活動」 埼玉県立越谷西高等学校(進路指導)

学校の進路指導の取り組み、および、PTA進路研修委員会の取り組みについて紹介。PTA進路研修委員会では、進路講演会、大学見学会を行った。大学見学会では2大学を見学し、雰囲気ダイレクトに感じることができ学びになったと述べている。

5. 「埼玉県立春日部高等学校定時制の課程 PTA 活動について」 埼玉県立春日部高等学校(定通教育)

定時制課程とPTA活動について、各行事の写真とともに紹介。

<所感>

県高P連でも時代に合わせた見直しを図られ、健全な高P連の運営ができるよう改善を推進していることがわかりました。特に来年度、関東地区高P連大会が埼玉で開催されるということで、大会の開催に向けて1年強活動していくこととなります。年度またぎの活動になりますので、情報共有をしっかりとすべきだと強く感じました。

研究協議会では残念ながら紙上発表のみでしたが、各校とも積極的なPTA活動を推進していることがわかりました。コロナ禍による制限が緩和され、各校でコロナ禍以前のイベントが再開されています。一女PTAとしても学校や生徒との関わりについて今一度考え、PTA活動の工夫や改善をしていくのが良いと思いました。

(文責 本部)